

日米

THE JAPANESE AMERICAN... PUBLISHED DAILY AT 620 ELLIS STREET...

軍事防正は

軍部は、十一月二十二日、東京、大阪、三ヶ所、無罪判決の大...

聖代に何の不祥事ぞ!

本社特約電通合同電報... 本電報は左記の如く日本政府の記事止めに...

大阪京都にも暴動

大阪府は共産主義的暴動の... 労働団体の突進的暴動化...

東京市疑獄

三次検挙の烽火上る... 既に召喚収容されたもの廿三名...

市中解散か

東京市警察三課、小島、平林、林田の四... 市中解散の恐れがある...

民政黨の切崩し

政府の見込みはつれ... 議事前の暗闘...

首相代理

伊勢に供奉... 小笠原伯曰く...

原耕代議士

政友会入り... 事業関係で...

水族院の

政府集立つ... 水族院の再会の意見...

田中首相

本月初杯静養か... 田中首相の健康状態...

陸軍始つて以来の

大規模な記念観兵式... 参加兵員一萬四千人に上る...

飛行機参加

百五十機の... 飛行機が観兵式に参加...

秩父宮参加

小隊長として... 秩父宮が観兵式に参加...

素質低下す

海軍省頭痛し... 海軍省は兵士の素質低下を懸念...

電通の三飛行家

相次いで遭難殉職... 電通の飛行家が遭難...

生命保険

國營論起る... 生命保険の国営化が議論される...

陛下御感

下土卒の感想文... 陛下の御感について...

皇后陛下

畏くも足袋履き... 皇后陛下の足袋履きについて...

大鯛一尾

御下賜になる... 大鯛一尾が御下賜される...

對支問題解決後

日英同盟復活説... 對支問題解決後の日英同盟復活説...

籠城した

女学生二百名... 女学生二百名が籠城した...

登宮さま

御入浴の... 登宮さまの御入浴について...

慶應勝つ

六對三... 慶應が六對三で勝つ...

黄熱病原

獨逸學者発見... 獨逸學者が黄熱病原を発見...

日本郵便

十一月廿三日... 日本郵便のスケジュール...

THE YOKOHAMA SPECIE BANK, Ltd. LOS ANGELES BRANCH 179 N. Main St. Tel. Mutual 6144-6145

THE FUJIMOTO SECURITIES CO. 1365 Russ Building SAN FRANCISCO, CALIF. TEL. GARFIELD 2728-2729

SK家具合資會社 瑞穂商會 電話ウエスト四三三七

THE SUMITOMO BANK, LTD. 315 California St., San Francisco, Calif. 500 S. San Pedro St., Los Angeles, Calif.

横濱正金銀行 桑府分店 電話ウエスト七八九九

株の御用命は 藤本證券株式會社桑港支店

SK家具合資會社 瑞穂商會

大春堂 THE TAISHUN-DO 1243 KERN ST. FRESNO, CALIF.

大禮大觀 桑府分店 電話ウエスト七八九九



# 市政研究 (其の四)

## 米國都市財政の重要性

米國都市の財政は、その都市の繁栄と否を決定する重要な要素である。一九二五年以前の都市財政は、概して地方自治体の収入に依りて維持されてきた。然るに近年は、都市の人口が増加し、都市の範囲が拡大し、都市の需要が増大した。このため、都市の財政は、従来の地方自治体の収入だけでは維持できなくなり、州政府や連邦政府からの補助に依りて維持されてきた。この補助は、都市の財政を維持する上で重要な役割を果たしている。しかし、補助に依りて維持される都市は、その財政の自主性を失い、その発展の機会を失うことになる。従って、都市の財政は、その都市の発展のために、自主性を回復し、その収入を増大させる必要がある。このためには、都市の財政の重要性を認識し、その重要性を高める必要がある。

# 河上清氏の執筆になる

## 高峰博士傳上梓

### 簡潔に叙述され 本年は七週年

本年は高峰博士の七週年忌にあたり、河上清氏が「高峰博士傳」を上梓された。本書は、高峰博士の生涯を簡潔に叙述し、その業績を明らかにしている。高峰博士は、日本の近代化に貢献した重要な人物であり、その業績は、日本の発展に大きな影響を与えている。本書は、高峰博士の生涯を知る上で重要な資料であり、その業績を後世に伝える上で重要な役割を果たしている。本書は、本年に出版されたもので、高峰博士の七週年忌にあたり、その業績を称える意味がある。

# 地球の人類収容は

## 二世紀後まで

地球の人類収容は、二世紀後までである。現在の地球の人口は、約二十億人である。この人口は、地球の資源を消費し、地球の環境を破壊している。地球の資源は有限であり、地球の環境は有限である。従って、地球の人類収容は、二世紀後までである。地球の人類収容を増やすためには、地球の資源を節約し、地球の環境を保護する必要がある。このためには、地球の人類収容の重要性を認識し、その重要性を高める必要がある。

# 肥料を製造

## 昭和樓が

昭和樓が肥料を製造している。昭和樓は、肥料の製造に専ら従事している。昭和樓の肥料は、農作物の生長を促進し、農作物の収穫を増大させる。昭和樓の肥料は、農作物の生長に必要な栄養素を含んでおり、農作物の生長に必要な栄養素を供給している。昭和樓の肥料は、農作物の生長に必要な栄養素を供給し、農作物の収穫を増大させる。昭和樓の肥料は、農作物の生長に必要な栄養素を含んでおり、農作物の生長に必要な栄養素を供給している。

# ブラジルに移住は

## ア河流域へ進出

ブラジルに移住し、ア河流域へ進出している。ブラジルは、ア河流域に位置している。ア河流域は、ブラジルの重要な地域であり、その資源は豊富である。従って、ブラジルに移住し、ア河流域へ進出している。ア河流域は、ブラジルの重要な地域であり、その資源は豊富である。従って、ブラジルに移住し、ア河流域へ進出している。

# 細菌の豫防方法

## 邦人耕作のラスベリ

細菌の豫防方法は、邦人耕作のラスベリである。細菌は、農作物の生長を妨げ、農作物の収穫を減少させる。細菌の豫防方法は、邦人耕作のラスベリである。邦人耕作のラスベリは、細菌の生長を抑制し、農作物の生長を促進する。邦人耕作のラスベリは、細菌の生長を抑制し、農作物の生長を促進する。邦人耕作のラスベリは、細菌の生長を抑制し、農作物の生長を促進する。

# 移民す

## 衛生設備の完成後開始

移民す。衛生設備の完成後開始。移民は、新しい土地を開拓し、新しい生活を始める。移民は、衛生設備の完成後開始。衛生設備の完成は、移民の健康を確保し、移民の生活を向上させる。衛生設備の完成は、移民の健康を確保し、移民の生活を向上させる。衛生設備の完成は、移民の健康を確保し、移民の生活を向上させる。

# 結婚の噂

## 大使の娘と

結婚の噂。大使の娘と。結婚の噂は、多くの人々の関心を集める。大使の娘と結婚する噂は、多くの人々の関心を集める。結婚の噂は、多くの人々の関心を集める。大使の娘と結婚する噂は、多くの人々の関心を集める。結婚の噂は、多くの人々の関心を集める。大使の娘と結婚する噂は、多くの人々の関心を集める。

# 是々非々

是々非々。議論の的となる。是々非々は、議論の的となる。是々非々は、議論の的となる。是々非々は、議論の的となる。是々非々は、議論の的となる。是々非々は、議論の的となる。是々非々は、議論の的となる。

# 日米要求

日米要求。交渉の進展。日米要求は、交渉の進展を促している。日米要求は、交渉の進展を促している。日米要求は、交渉の進展を促している。日米要求は、交渉の進展を促している。日米要求は、交渉の進展を促している。日米要求は、交渉の進展を促している。

# フーバーは

フーバーは。捜査の進展。フーバーは、捜査の進展を促している。フーバーは、捜査の進展を促している。フーバーは、捜査の進展を促している。フーバーは、捜査の進展を促している。フーバーは、捜査の進展を促している。フーバーは、捜査の進展を促している。

その他の記事。多岐にわたる。その他の記事は、多岐にわたる。その他の記事は、多岐にわたる。その他の記事は、多岐にわたる。その他の記事は、多岐にわたる。その他の記事は、多岐にわたる。その他の記事は、多岐にわたる。

<b>見習</b> 求職者募集 年齢二十歳以上二十歳未満 学歴中等以上 待遇優厚 電話二二二二	<b>求職</b> 求職者募集 年齢二十歳以上 学歴中等以上 待遇優厚 電話三三三三	<b>求職</b> 求職者募集 年齢二十歳以上 学歴中等以上 待遇優厚 電話四四四四	<b>求職</b> 求職者募集 年齢二十歳以上 学歴中等以上 待遇優厚 電話五五五五	<b>求職</b> 求職者募集 年齢二十歳以上 学歴中等以上 待遇優厚 電話六六六六	<b>求職</b> 求職者募集 年齢二十歳以上 学歴中等以上 待遇優厚 電話七七八八	<b>求職</b> 求職者募集 年齢二十歳以上 学歴中等以上 待遇優厚 電話八八九九	<b>求職</b> 求職者募集 年齢二十歳以上 学歴中等以上 待遇優厚 電話九九九九
--	---	---	---	---	---	---	---

<b>御料理</b> 和洋食料雑貨一切 電話一〇一〇	<b>金門商會</b> 電話二〇二〇	<b>御料理</b> 和洋食料雑貨一切 電話三〇三〇	<b>金門商會</b> 電話四〇四〇	<b>御料理</b> 和洋食料雑貨一切 電話五〇五〇	<b>金門商會</b> 電話六〇六〇	<b>御料理</b> 和洋食料雑貨一切 電話七〇七〇	<b>金門商會</b> 電話八〇八〇
----------------------------------	-----------------------	----------------------------------	-----------------------	----------------------------------	-----------------------	----------------------------------	-----------------------

<b>日本病院</b> 電話一〇一〇	<b>森山寫眞館</b> 電話二〇二〇	<b>柳寫眞館</b> 電話三〇三〇	<b>花はスター花店</b> 電話四〇四〇	<b>御料理</b> 和洋食料雑貨一切 電話五〇五〇	<b>金門商會</b> 電話六〇六〇	<b>御料理</b> 和洋食料雑貨一切 電話七〇七〇	<b>金門商會</b> 電話八〇八〇
-----------------------	------------------------	-----------------------	--------------------------	----------------------------------	-----------------------	----------------------------------	-----------------------

<b>大正薬舗</b> 電話一〇一〇	<b>旅館</b> 電話二〇二〇	<b>旅館</b> 電話三〇三〇	<b>旅館</b> 電話四〇四〇	<b>旅館</b> 電話五〇五〇	<b>旅館</b> 電話六〇六〇	<b>旅館</b> 電話七〇七〇	<b>旅館</b> 電話八〇八〇
-----------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------

<b>大正薬舗</b> 電話一〇一〇	<b>旅館</b> 電話二〇二〇	<b>旅館</b> 電話三〇三〇	<b>旅館</b> 電話四〇四〇	<b>旅館</b> 電話五〇五〇	<b>旅館</b> 電話六〇六〇	<b>旅館</b> 電話七〇七〇	<b>旅館</b> 電話八〇八〇
-----------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------







### 農業と経済

## 米國玩具の生産高

### 日本より輸入も多い

合衆國の玩具生産高は、昨年より今年にかけて、急激に増加した。これは、米國の玩具産業が、戦時中から戦後にかけて、急激に復興したためである。玩具の生産高は、昨年より今年にかけて、急激に増加した。これは、米國の玩具産業が、戦時中から戦後にかけて、急激に復興したためである。

### 加州は四番目

## 輸出額に於て

加州の玩具輸出額は、昨年より今年にかけて、急激に増加した。これは、加州の玩具産業が、戦時中から戦後にかけて、急激に復興したためである。加州の玩具輸出額は、昨年より今年にかけて、急激に増加した。これは、加州の玩具産業が、戦時中から戦後にかけて、急激に復興したためである。

### 東部市況

## 十一月二十日農務局報

東部市況は、十一月二十日農務局報によると、概して安定している。主要な農産物の価格は、前週と比べて大きな変動は見られず、市場は比較的落ち着いた状態にある。

### 桑港市況

## 十一月二十日

桑港市況は、十一月二十日によると、概して安定している。主要な農産物の価格は、前週と比べて大きな変動は見られず、市場は比較的落ち着いた状態にある。

#### 野菜類相場

アスパラガス	〇・二〇〇
ブロッコリー	〇・一五〇
キャベツ	〇・一〇〇
レタス	〇・一五〇
トマト	〇・一〇〇
ピーマン	〇・一五〇
パプリカ	〇・一〇〇
ナス	〇・一〇〇
ズッキーニ	〇・一五〇
アボカド	〇・一〇〇
パセリ	〇・一〇〇
セロリ	〇・一〇〇
ニンニク	〇・一〇〇
生姜	〇・一〇〇
大根	〇・一〇〇
人参	〇・一〇〇
ジャガイモ	〇・一〇〇
ダイコン	〇・一〇〇
小豆	〇・一〇〇
大豆	〇・一〇〇
小麦	〇・一〇〇
大麦	〇・一〇〇
粟	〇・一〇〇
雑穀	〇・一〇〇

#### 果實類相場

リンゴ	〇・一五〇
アップル	〇・一〇〇
オレンジ	〇・一〇〇
レモン	〇・一〇〇
ライム	〇・一〇〇
グレープ	〇・一〇〇
ブドウ	〇・一〇〇
イチゴ	〇・一〇〇
ブルーベリー	〇・一〇〇
ラズベリー	〇・一〇〇
ブラックベリー	〇・一〇〇
サクランボ	〇・一〇〇
桃	〇・一〇〇
杏	〇・一〇〇
梅	〇・一〇〇
梨	〇・一〇〇
柿	〇・一〇〇
干果	〇・一〇〇

#### 穀類相場

小麦	〇・一〇〇
大麦	〇・一〇〇
粟	〇・一〇〇
雑穀	〇・一〇〇
豆	〇・一〇〇
米	〇・一〇〇
パン粉	〇・一〇〇
小麦粉	〇・一〇〇
大麦粉	〇・一〇〇
粟粉	〇・一〇〇
雑穀粉	〇・一〇〇
豆粉	〇・一〇〇
米粉	〇・一〇〇
パン	〇・一〇〇
麺	〇・一〇〇
餅	〇・一〇〇
和菓子	〇・一〇〇

#### 畜産物相場

豚肉	〇・一〇〇
牛肉	〇・一〇〇
鶏肉	〇・一〇〇
魚	〇・一〇〇
卵	〇・一〇〇
乳	〇・一〇〇
バター	〇・一〇〇
チーズ	〇・一〇〇
蜂蜜	〇・一〇〇
肉類	〇・一〇〇
魚類	〇・一〇〇
卵類	〇・一〇〇
乳類	〇・一〇〇
油脂類	〇・一〇〇
調味料	〇・一〇〇
加工食品	〇・一〇〇

### 新女性鑑

#### 菊池寛作

新女性鑑は、現代女性の生活様式や価値観を鋭く描き出した傑作である。菊池寛作の筆力によって、読者は女性の心の奥深くまで窥い込むことができる。

### 幸枝の路

幸枝の路は、戦時中の女性たちの苦闘と希望を描いた感動的な物語である。主人公の成長と奮闘が、読者の心を強く打つ。

### 種子

種子は、日本の農業の発展と食糧の安定供給をテーマにした重要な著作である。著者は、科学的な視点から種子の重要性を説き、読者に啓蒙を促す。

### 卸、小賣 種子物園

種子物園は、高品質の種子を提供し、農家の生産性を向上させることを目指している。豊富な品種と丁寧なサポートが、お客様の信頼を勝ち取っている。

### 種子は

日本の種子は、品質と信頼を重視し、世界中に愛用されている。最新の品種と科学的な選抜技術によって、最高の生産性を確保している。

### 大坂薬店

大坂薬店は、伝統的な漢方薬と最新の西薬を揃えており、お客様の健康をサポートしています。経験豊富な薬剤師による丁寧な相談が、お客様の安心につながります。

### 岩城ブロード

岩城ブロードは、最新のファッションアイテムを提供し、お客様のスタイルをサポートしています。高品質の生地と洗練されたデザインが、お客様の個性を表現するための最適な選択です。

### 胃腸ダイゼリン

胃腸ダイゼリンは、胃腸の健康をサポートし、消化を促進するための効果的なサプリメントです。自然由来の成分を使用しており、安心して服用することができます。

### 日活會社春季代表超特任世界の大映画

御待ちかれの 大名畫上映

## 續木戸黃門

全廿卷

天下 一品

當十一月廿五日、廿六日 午後七時開演

桑港 於金門ホール

### 日活會社春季代表超特任世界の大映画

御待ちかれの 大名畫上映

## 續木戸黃門

全廿卷

天下 一品

當十一月廿五日、廿六日 午後七時開演

桑港 於金門ホール

### 日活會社春季代表超特任世界の大映画

御待ちかれの 大名畫上映

## 續木戸黃門

全廿卷

天下 一品

當十一月廿五日、廿六日 午後七時開演

桑港 於金門ホール















A Newspaper For All Peoples Interested In The Welfare of Japan And the Japanese People

# The Japanese American News

THE LARGEST JAPANESE NEWSPAPER PUBLISHED OUTSIDE OF JAPAN

The largest English Section Published Daily by Any Japanese Paper On This Continent

NUMBER 10442

Entered at the San Francisco Post Office as Second Class Matter.

SAN FRANCISCO, CALIF., THURSDAY, NOVEMBER 22, 1928.

Copyright 1928 By The Japanese American News

Per Month \$ 1.00 Per Year \$ 11.00

## COLOR AND BEAUTY MARK JAPANESE PROGRAM GIVEN BY INTERNATIONAL CLUB

### Dance, Songs, Art of Old Nippon Given By Talented Members of Local Community; Large Crowd Throgs Institute

Before a group of one hundred American and Japanese people interested in the art of Nippon, the International Club of this city presented a strikingly artistic program of Japanese art and music Tuesday evening at the local International Institute on Washington street.

Following introductory remarks by Miss Sumie Yamamoto, secretary of the local Japanese Y. W. C. A., Kay Nishida was called upon to act as chairman of the evening.

The opening number was a demonstration of artistic Japanese flower arrangement, executed with great skill by Mrs. M. Higaki. Nishida gave a brief history of the art and explained the philosophy embodying it.

Miss Sayeko Sugiyama, talented second generation girl, gave a stunning performance of Sanbaso or classical Japanese dance, which received a prolonged applause from the enthusiastic audience. Mrs. Miyaki accompanied Miss Sugiyama on the samisen.

### MRS. SHIBATA SINGS

Another number which attracted the attention of those present was the group of two songs sung by Madame Shibata, noted local Japanese soprano. "Chocho" and "Neneko" or Lullaby song were the songs she sang. She was accompanied on the piano by Miss Emily Sano.

Perhaps the feature of the evening's program was the exceedingly accomplished rendering of the famous Japanese sword dances "Hinomoto" and "Kawanakajima" by Gihel Komiyama, who was accompanied with the "shigin" by Kozo Fukawa. With an ancient sword made five hundred years ago, the talented dancer showed flashes of inspiration and amazed the Occidental members of the audience, to whom the performance was a novel treat.

### INSTRUMENTAL MUSIC

The next number was a Japanese musical quartet, "Usa no Koyu," with Madame Suwada, noted music teacher of this city, on the samisen; Mr. Mitune on the shakuhachi, Mrs. Hnda and Mrs. Matsukawa on the koto. They also rendered "Chidori." The program concluded with the singing of the Japanese national anthem, "Kimigayo."

Following the program, this international group of art lovers enjoyed a delightful hour of tea and conversation during which everybody became acquainted with one another. The party disbanded about eleven o'clock.

## Fliers Carrying Coronation Photos Take Death Plunge

TOKYO, Nov. 21—(UP)—The Japanese pilot Masao Iwata was drowned today when an airplane he was flying for Nippon Dempo fell into the sea.

Iwata was carrying the pictures of the arrival of the Emperor Hirohito and his party at the Ise Shrines to Kyoto for the newspaper.

A second plane carrying similar pictures for the newspaper was missing and it was feared it had crashed in the mountains.

The Emperor and Empress were expected to return to Kyoto, Thursday, after the completion of the Ise ceremonies.

## In Memory of Our Friend

(Mitue Mizoguchi)

By JOHN Y. YOSHINO  
Someplace in the world unknown,  
Sleeps a name gladly spoken;  
Earth's cold chill unbroken,  
She sleeps—perchance remembering  
Her once fading life, her token  
From her Heavenly Father.  
Her soul was like a little boat;  
She sailed the seas of life with singing,  
Now sleep and rest to gently float,  
By God's hand to haven bringing;  
Through heavenly gates the Lights  
Shine high,  
Like sun through clouds on silvery  
lakes,  
She smiles too glad, for tear or sigh.

Rev. E. Lee Hits Discrimination In Exclusion Act

WASHINGTON, Nov. 1—(By Mail)—The Reverend Edmund Lee of Nanking, China recently offered a resolution to the convention of the Episcopal Church protesting against alleged discrimination against Orientals by the United States. Commenting on the American policy, Lee said:

"There is much feeling against the Oriental exclusion clauses in the American immigration laws on the part of both Chinese and Japanese. At all meetings attended by Orientals and Americans the American immigration laws sit in as unseen spectres."

Lee said the general policy of the Oriental nations is one of "patient waiting until the United States sees fit to loosen its drastic restrictions." His resolution was referred to the committee.

## U. S. BAN HIT IN ADDRESS BY EX-ENVOY

### Charles Warren Seeks Reconsideration of Exclusion Act

Washington, Nov. 1—(By Mail)—A stirring appeal for reconsideration of the Japanese exclusion law was made here recently by Charles Beecher Warren, former Ambassador to Tokyo. He spoke at a banquet given under the auspices of the Episcopal Church to mark formation of a drive for \$2,000,000 to complete a \$5,000,000 endowment for St. Luke's Hospital at Tokyo.

"I condemn barring Japanese from American soil," said the former Ambassador. "If we wish to exclude them on economic grounds we are justified in so doing. Japan would understand such a language as she herself excludes the Chinese for the same reasons. But to deny our land to the Japanese through any suggestion of racial inferiority connotes a thought which is false."

### WARREN ENDORSES DRIVE

Warren strongly endorsed the financial drive on behalf of St. Luke's Hospital. "It will give the Christian missionaries the opportunity to demonstrate by their own lives," he said, "the moral standards of our nation which some day we may live up to. Let us not imagine that the hospital in itself will bring peace. No machine will create peace, which is a state of mind and not a piece of machinery; men and women must desire it and men entrusted with power must recognize the just rights of other people and their just aspirations."

### STAGE OF UNDERSTANDING

Consul-General Saito who came from New York to attend the banquet voiced the belief that the exclusion act will be satisfactorily adjusted in the near future. "Japan and America have passed through three stages," he commented. "The first stage was that of patronage; the second was a stage of mistgivings and suspicions and the third is a stage of understanding."

American immigration laws on the part of both Chinese and Japanese. At all meetings attended by Orientals and Americans the American immigration laws sit in as unseen spectres."

Lee said the general policy of the Oriental nations is one of "patient waiting until the United States sees fit to loosen its drastic restrictions." His resolution was referred to the committee.

## "Our Most Important Problem" Subject Of Our English Section's Annual Prize Essay Contest; Closing Date Is Dec. 15

The English department of the Japanese American News takes pleasure in announcing its annual prize essay contest, which is open to all second generation members in America.

This annual literary event which has been met with huge success during the past years, is expected to prove more popular than ever this year due to the vital and timely subject of the contest.

"Our Most Important Problem" is a subject which is fraught with great possibilities for vigorous contestants. The interpretation of the subject is left entirely to the contestants.

The first three winning essays, which must all be written in English, will be published in the English section of our special New Year edition. Honorary mentions will also be made.

Prizes of \$15, \$10, \$5 will be awarded to the first, second, and third places respectively.

The rules of the contest are tabulated below. Clip it out and keep it for reference when writing that prize essay.

1. All manuscripts must be in our hands by midnight of December 15. They must be either written in ink or typewritten, ON ONE SIDE OF THE PAPER ONLY.

2. Each manuscript must bear the name of the author, together with his or her age and address. No manuscript will be returned.

3. Manuscripts must not be more than 250 words in length. They must be written in English.

4. There will be no restrictions whatsoever placed on age or sex.

## JAPAN BOOK IN POLISH

### First Polish Book On Japan Written By Dr. Banasinski

The Polish people's knowledge of Japan and things Japanese will be greatly increased as the "Contemporary Japan" in the Polish language was made public by the Polish Foreign Minister at Warsaw only a few days ago.

Dr. Eugene Banasinski, chief of the Consular department at the Polish Legation, Tulumaki-cho Azabu, Tokyo, is the author of this first Polish book dealing mainly with the economic activities of Japan.

Starting the work of writing the economic problems of Japan soon after his arrival in Tokyo in the spring of 1925, Dr. Banasinski had completed it last June and sent his manuscript to the Foreign Office at the Polish capital for publication.

"I have carried out the promise with our Foreign Minister to write a book on present day Japan," declared Dr. Banasinski.

"The interest of the Polish people toward Japan and things Japanese," continued the Polish author, "has greatly increased, yet there was no book on Japan in the Polish language. Therefore, a great number of the Polish people have written to the Foreign Ministry asking it to do something to fill this long-felt want. As the result I have decided to write a book."

WINS PRAISE  
Dr. Banasinski was graduated from the Freiberg University, Switzer-

## RED CO-EDS OF NIPPON IN WALK-OUT

### Students In Meeting Seek Principal's Resignation

TOKYO, Nov. 21—(Special)—Fired by the dismissal of five of their instructors, 200 co-eds of the Girls' Normal College and Second Girls' High School of this city went on a walk-out today after presenting a resolution demanding resignation of the principal and reinstatement of the teachers.

For some time the two factions among the members of the faculty had been quarreling, and the friction culminated in the dismissal of the five instructors by Principal Ichigen Tanaka. The students then flocked to the Meiji Shrine field for a mass meeting at which heated discussions and debates took place.

The result was the drawing up of a resolution demanding the resignation of the principal and reinstatement of the teachers, together with a request that the members of the faculty cease quarreling.

After presenting the resolution to the principal, the students went on a strike with the determination not to return until their demands have been met.

## MAN LAUDS JAPANESE

### Swear Words Un-known In Japan Avers Pastor

By SAM EWING  
"The Japanese people do not know how to swear, or curse, or take the name of God in vain, as is done in Occidental lands," said the Rev. Dr. C. S. Reifsnider, suffragan bishop of the Episcopal church in north Tokyo, at the Clift Hotel today.

"However, they have some very expressive words to denote anger or impatience, such as calling a man a beast or a fool. So the popular belief that swearing knows no geography falls down when it comes to Japan. There is more candor among Japanese men and women in speaking of sex matters than there is in the United States. In this absence of prudery, they resemble continental Europe, and in my opinion this is a good thing."

erland, taking the course of mathematics there in 1925. He entered the consular service of his country and came to Japan in the same year. He finished his study at the university. The Bibliographical Review, at Warsaw, gave his book on Japan a most favorable comment in its September number.

Y.M.C.A. YOUTH DESCRIBES IMPRESSIONS OF JAPAN

### Member of 1928 "Hands Across the Pacific Tour Party" Tells of Value of Good Will Trip to Japan In Essay

By WHITNEY WRIGHT  
The sky was overcast with heavy, leaden clouds that threw a gloomy aspect on the surroundings and deprived them of any beauty that they may have possessed. At the same time a soft, drizzly rain was falling, distorting near-by objects and making clear and distant vision impossible.

That was on the morning of June 22nd and I was getting my first glimpse of Japan from the deck of the Shinyo Maru as it slowly churned its way up the bay toward the docks of Yokohama.

MENTAL PICTURE  
As I look back now on that never-to-be-forgotten moment, I am struck with the phenomenal resemblance between the elements that were then obstructing my view, and conditions that had always surrounded my mental picture of Japan and its people.

This mental picture, like the one that lay before me on the morning of arrival, was overcast with clouds of hear-say, gossip and suspicion, which, like the clouds of that same morning, were letting loose a veil of prejudice and ill-will that covered up the beautiful and good, distorting it into ugly shapes and making clear honest vision impossible.

CHANGE OF VISION  
It was 31 days later and I was again standing on the deck of a boat, the President Jefferson, this time getting my last glimpse of Japan. On this occasion, however, the sun was pouring down in all its golden glory, casting on every object for miles around, its strong clear light that hid nothing, but brought out the beautiful as well as the ugly. The clouds had gone, driven away by the brilliance of the sun, and with the clouds had gone the rain.

Here again I marvel at the resemblance between the condition of the weather and the condition of my mind. The golden sunlight was the first-hand knowledge of Japan and its people, that I had gained during the month of traveling in that country, and through it I could see things as they really were—not as they had been painted in my imagination by others.

JAPAN BEAUTIFUL  
I saw Japan then as a beautiful land, in which there lived and prospered a happy, industrious race, among whom, I was proud to think, I had many new friends.

In these few paragraphs is found the most important thing that I gained from the trip. In addition I came to realize for the first time how big this old earth really is, as heretofore my travels had been confined to California and Oregon. My knowledge of geography was considerably increased; my knowledge of political science was enlarged, both by comparing the countries in which we visited with that of our country, and through the excel-

lent course that was part of the tour; I made many new and wonderful friendships; I came to have greater respect for my countrymen, who leave home and friends in order to spread Christian ideals in foreign lands.

TRIP IS EDUCATIONAL  
In a word, my mind was broadened in a hundred ways, and each time in looking back upon the trip I find some new good it had done me, either in practical knowledge, outlook or incentive.

(To be continued)

## 31 KILLED 60 WOUNDED AS LABORITES, POLICE CLASH DURING KYOTO CORONATION

### Shanghai Reports Reveal 200 Demonstrators Arrested On Nov. 11 and 12; News Suppressed In Japan By Government

LONDON, Nov. 21—(UP)—The Manchester Guardian's Shanghai correspondent said today that the Chinese official Kounin News Agency at Tokyo reported that 29 labor demonstrators and 2 soldiers were killed and 60 demonstrators were wounded in Tokyo in clashes with the police and Japanese troops on Nov. 11 and 12 during the Enthronement Ceremonies.

The report said 200 demonstrators were arrested.

The Kounin agency said censorship had prevented foreign correspondents from cabling reports of the incident and that likewise the Japanese press had been prevented from mentioning the clashes.

The Kounin agency further alleged, that serious labor demonstrations occurred in Osaka and Kyoto. The agency said that on Nov. 11, eight demonstrators were killed, 60 wounded and about 200 arrested and that the next day two soldiers and 21 laborers were killed.

The dispatch also said the Japanese Government ascribed the trouble to Communists but that actually the demonstrators belonged to the independent labor and political opposition parties.

## 'Y' Boys to Listen In On California-Stanford Big Game

The Radio Drive, which has been conducted by the young boys of the local Y. M. C. A., was quite successful. The closing of the drive was announced by Susumu Takao, chairman of the Boys' Division Promotion Committee of the Japanese "Y."

The committee in charge supervised the handling of the drive in great fashion and kept everybody on the "go." A fine radio will be installed Friday and that it may meet with the approval of the "Y" boys who are anxious supporters of the Cardinals and the Golden Bears. They will now have an opportunity to listen in on the Big Game.

A grid graph is being planned for Saturday, and the committee in charge will work the board. Everybody is welcome to attend. The kick-off is at 2:30 p. m.

Moreover, it is no uncommon thing, when tramping through the countryside far removed from the ports and cities of the Empire, to hear the strains of opera or of some popular song floating out across the rice paddies. The radio, which has met with a great success in the Far East, furnishes Western music almost daily, and music of one sort or another occupies more than half of the programs broadcast.

MUSIC WELL UNDERSTOOD  
Not only, however, is the prevalence of Western music noticeable in Japan, but also an understanding and appreciation of it is gaining ground. For instance, Tokyo now possesses three symphony orchestras with subscription concerts each season. Also, during the warm weather, concerts or recitals are given almost every night in one of the downtown parks, and the people flock to them in thousands.

CONTRIBUTES TO THE WEST  
Japan's eager and intelligent acceptance of Western music is bringing another development of importance in its train. Japanese music as such consists of a simple melody and intricate rhythms; there is no harmony in it as that word is understood in the West, but it is becoming recognized that the best of Japanese music has something of importance to contribute to the world, although it must be reshaped and harmonized before the world will accept or understand it. This process of reshaping is well under way, many Japanese songs having been orchestrated in the Western fashion so that they retain their Japanese melody and as such of their Japanese rhythm as is compatible with the elimination of discord. In other cases Western musicians have made a study of Japanese music and have then composed original scores based in a general way on the result of their studies.

Not only, however, is the prevalence of Western music noticeable in Japan, but also an understanding and appreciation of it is gaining ground. For instance, Tokyo now possesses three symphony orchestras with subscription concerts each season. Also, during the warm weather, concerts or recitals are given almost every night in one of the downtown parks, and the people flock to them in thousands.

CONTRIBUTES TO THE WEST  
Japan's eager and intelligent acceptance of Western music is bringing another development of importance in its train. Japanese music as such consists of a simple melody and intricate rhythms; there is no harmony in it as that word is understood in the West, but it is becoming recognized that the best of Japanese music has something of importance to contribute to the world, although it must be reshaped and harmonized before the world will accept or understand it. This process of reshaping is well under way, many Japanese songs having been orchestrated in the Western fashion so that they retain their Japanese melody and as such of their Japanese rhythm as is compatible with the elimination of discord. In other cases Western musicians have made a study of Japanese music and have then composed original scores based in a general way on the result of their studies.

There were 24 persons that fell from a 10-story building, and they didn't get hurt. Why? Ans. Because they got killed.

There were three persons that were under an umbrella, and one of them went out but didn't get wet. Why? Ans. Because it wasn't raining.

There were twenty six (sick) sheep and one died. How many are left? Ans. Nineteen.

THE WEATHER  
Official forecast:  
Thursday—Fair and mild, moderate westerly winds.

をみ込申御グスニ到殺文註

御大典記念には  
日米新聞社発行 御大典畫報が第一

廣古の御盛典に際し我社に於ては御即位記念として御大典畫報を發行し諸儀式の御模様をものなく寫眞に繪畫に謹寫奉揚して諸君に頒布致します

我社は前年御大典畫報を發行して大歡迎を受けました。今回は前年の御大典畫報よりも内容外觀に格段の改善を加へました。

御大典畫報一冊 金五十仙 (送料不要) (但し前金)

申込書  
日 月 年 姓名 住所 日米新聞社御中

要 概 容 内  
一、表紙 杉浦非水畫伯揮毫  
一、體裁 新聞半頁大 四十八頁  
一、内容 諸儀式の御模様詳細に謹寫  
一、印刷 高級グラビア美術印刷  
一、發行 十一月二十日、十二月初旬美國寄

桑港 日米新聞社

THE JAPANESE AMERICAN  
650 ELLIS ST.  
SAN FRANCISCO, CAL

